

MLA48

NEWS
LETTER

2019年7月28日
No.166

MLA48プロジェクト

108 Members



7月度合同ミーティング(MLA48 通算第120回)

7月27日(土), [長津田地区センター](#)で[JHIYMC 横浜みどりクラブ](#) 第七十三回アンテナ製作プロジェクトと[MLA48プロジェクト](#)合同ミーティングを開催。午前中「親子でつくるAM・FMラジオ」製作会は満員御礼。今回スーパーヘテロダインなので、いつものゲルマラジオとは勝手が違って、サポートも大変。



プチ講演は[JIICAX 澤田さん](#)の「トランジスターラジオ (SONY) の歴史とラジオ技術」。「日本初のトランジスタラジオ [TR-55](#) より前に、実は [TR-52](#) が開発されていた」というイントロから引きつけられました。



[TFM-110](#) (1965年) の写真で、高校生のころ [TFM-110F](#) (1967年) で [BCL/SWL](#) に夢になったことを思い出しました。

[ICF-10](#), [ICR-M7](#), 世界初スピーカークレドール付きラジオ [SRF-80](#) (1980年) は、iPod などのクレドールの原点ですね。ラジオウォークマン1号機 [SRF-40](#) (1980年) など、本記載の製品はすべて [澤田さん](#) の設計です。

アクティブアンテナ [AN-1](#) (1982年) の開発では、当時部品にはないトロイダルコイルも開発されたとのこと。最も高価だった [CRF-V21](#) (1988年) は [FAX](#) や [RTTY](#) のプリントアウト (右写真) もでき、軽自動車並みの価格だったそうです。

[澤田さん](#) 開発のラジオ技術：①54.845MHz クリスタルフィルター (MCF) は、第1IFの周波数が高いためイメージ周波数が放送帯域からはずれ、フィルターだけでよくなり、小型化に貢献しています。②[2SK152](#)



はHF帯の増幅に最適なFETで、ほとんどのマルチバンドラジオのRFアンプに使われ、③非同調バーアンテナは、自己共振を2MHz付近にしてフィードバック用巻線を付けて、150~1700MHzで同調を取らずに高感度を実現 (①の技術と合わせて)。

「今もこの仕事をしていたらSDRか...?」と感慨をこめられて終了。最後に[JA2IYJ 山田さん](#)のBJJ型バリコン試作第2段(15~525pF, 推定耐圧30KV)を拝見。MLAでの耐圧(?)実験者を募集中!

DE JG1UNE

